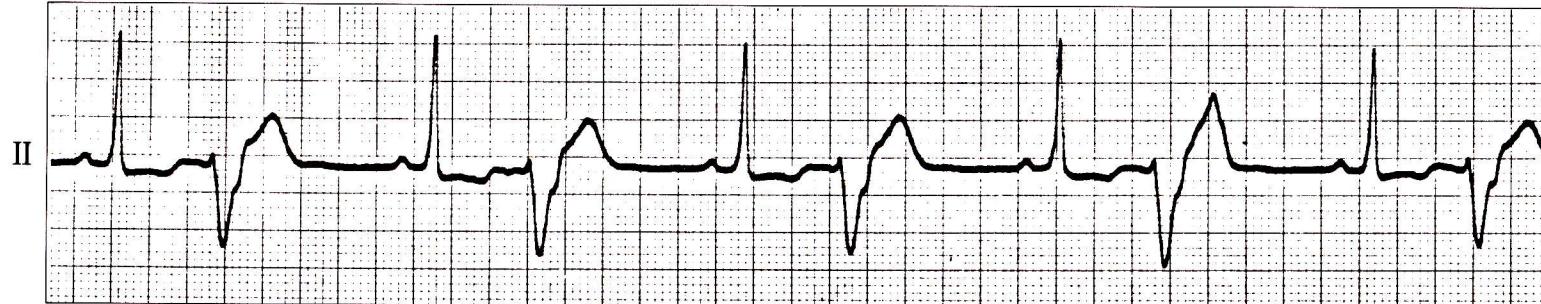


症例 36

●42歳 女

高血圧で外来通院中の患者。



- 1) 2種類のQRS波が交互に出ているが、この状態を何というか。
- 2) この状態は緊急の処置を必要とするか。

心電図診断

心室性期外収縮(2段脈)

2、4、6、8、10拍目はQRS幅 >0.12 秒、かつ先行P波をもたない。これらは心室性期外収縮である。

解説

一般に心室性期外収縮は散発するものは治療の対象にはならないが、多発する場合（1分間に10個以上）はより重篤な不整脈に移行しやすく、抗不整脈剤の適応となる。2段脈の場合には心室性期外収縮の数が1分間に30～50個にもなるが、その状態で安定していれば、それほど危険ではない。

基礎疾患の検索、治療を行ないながら、心室性期外収縮に対する通常の処置を行なえばよい。